



阪谷小学校ドロリンピック

おおの 議会だより



No.190 平成27年7月24日

発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

▼
主
な
内
容

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 住民票等のコンビニ交付システムを構築する経費などを追加（6月定例会の概要） | 2ページ |
| 9議員が市政を問う（一般質問） | 3～7ページ |
| のぞいてみよう大野市議会（定例会のしくみ） | 7ページ |
| 各議員の表決結果、人事案件など | 8ページ |
| 福井しあわせ元気国体の本市開催競技の強化は（常任委員会審査Q & A） | 9ページ |
| 九頭竜新緑まつりで若年層をターゲットに（常任委員会報告） | 10ページ |
| 特別委員会報告 | 11ページ |
| 委員会視察レポート | 12ページ |

6月定例会市議会概要

第394回定例会市議会は、6月8日から24日までの17日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、平成27年度の一般会計補正予算案、条例の改正、工事請負契約の締結などの全13議案のほか、請願1件、そして市会案1件について審議しました。審議結果は、8ページのとおりでです。

一般会計予算に 9785万円を追加

平成27年度一般会計予算に、9785万円が追加され、予算の累計が178億9685万円になりました。

前年度7月補正後と比較すると7・3割の減です。

なお、主な補正の内容は下表のとおりです。

各特別会計等

補正予算の概要

介護保険事業特別会計では、保険事業勘定において、財源の組み替えや国の実施要綱の改正に伴う調整が行われ、35万円が減額されました。また、水道事業会計では、過年度還付金等の増額により62万円が追加されました。

住民票等のコンビニ交付システムを構築する経費、 天狗岩ファミリーパークの施設解体経費などを追加

補正のあった主な内容	補正額
★ 新庄区自主防災組織の防災資機材購入に対する助成	190万円
★ 美里町と若杉町のコミュニティー活動用備品購入に対する助成	440万円
★ 住民票等をコンビニエンスストアで交付できるシステムを構築する経費	3357万円
★ 身体障害者手帳交付対象外である軽・中度難聴児の補聴器購入に対する補助	15万円
★ 林道金山・桃木線の舗装工事費を追加	800万円
★ 九頭竜スキー場のスノーモービル1台を更新する経費	120万円
★ 天狗岩ファミリーパーク廃止に伴う施設解体にかかる経費	1998万円
★ 重点「道の駅」の基本設計を作成するための協議会を設置する経費	453万円
★ 国体カヌー競技コースの測量と実施設計を行うための経費	677万円
★ 豪雪で被害を受けた林道の落石・倒木除去等を行う経費	400万円

その他の議案

▼特用林産物生産・加工施設整備工事請負契約

和泉地区川合に建設する特用林産物生産・加工施設の整備工事に関する契約を認めました。契約金額は5億5080万円です。

▼結の故郷奨学金 貸与条例の改正

奨学金制度の利用促進を図るため、貸与基準を緩和する改正がなされました。所得要件を世帯の合計から学生等の保護者

の合計へ緩和するとともに、所得要件である市民税所得割額が「20万円以下」から「30万4200円未満」に改められました。



～～お知らせ～～

来る8月21日（金）に第1回目となる大野市子ども議会を開催します。

学校で学習する議会を実際に子ども議員の立場で体験し、大野市の行政に対して日頃から疑問に感じていることや、大野市の将来について質問や提案をすることで、市の仕事や議会の仕組みを理解してもらおうとともに、将来も大野に住みたい、住み続けたいと感じる心の醸成を目指すものです。

開催日時：8月21日（金）午後2時から
開催場所：大野市議会議場

第五次大野市総合計画の 前期計画の現状評価は



36の基本施策と117の施策を掲げ、
各種事業に取り組んできた

問 第五次大野市総合計画の前期基本計画の現状評価は。

答 36の基本施策と117の施策を掲げ、各種事業に取り組んできた。本年度は世代間結ぶくり事業や若者の定住促進、結婚・出産家庭などへの新たな応援に加え、一層の地方創生・人口減少対策に取り組みたい。

問 ふれあい交流人口を平成32年に3万8000人としているが現状をどう判断するか。

答 平成26年の人口は3万3335人と予想以上に減少しており、ふれあい交流人口の目標維持は、観光入り込み客数の増加によるところが大きい。人口減少に歯止めをかける施策と、より魅力ある事業を実施し、ふれあい交流人口の目標達成につなげたい。

問 世帯数はこの9年間で、下庄・乾側・小山地区は増えているが大野市

街地で289世帯、人口では1831人と大きく減少している。この人口の動態をどう考えるか。

答 中心市街地の活性化と中心市街地へ戻る施策を進め、市街地からの流出を防ぎたいと考える。

問 結の故郷交付金事業で投入された地域別金額は。

答 市民税決算額の1割、26年度総額で約1300万円。例えば大野地区では1人当たりの補助金額が204円、乾側では1人当たり1000円以上という数字になる。

問 人口減少対策等については、自らの手で情報を獲得し計画を立てるべきと考えるがいかか。

答 昨年実施したアンケートを地区ごとに分析し総合計画の後期基本計画や人口ビジョン等に反映させていくとともに、策定に当たり市民の意見を聞く機会なども作りたい。

創生おおの

まつた

もとえ
議員

キャリング・ウォーター・プロジェクトの目的は



恵まれた水環境にあらためて感謝し、その思いと行動を世界に発信し
共感を得ることで、大野市民自身が故郷の良さを再認識すること

問 大野市民はミネラルウォーターの風呂に入り、自動車を洗うといった日本一高価で文化的な生活を送っているが、この「水」

についての株式会社電通とのコラボによるプロジェクトのコンセプト、概要と意義、効果について聞きたい。

答 このプロジェクトの役割は、水への感謝という思いを運び・伝えることで、まず大野に住んでいる私たちに、この恵まれた水があることと、その環境に育まれてきたことを再認識してもらい、誇りに感じてもらうことにある。

問 プロジェクトの推進に当たって、国際機関等と連携は考えられないか。

答 ユニセフや、安全な水環境の改善に取り組む国際協力に携わるNGOなどと連携することを検討している。また、来月パリで開催

されるジャパンエキスポにおいて、大野の水を展示し、来場者への試飲、写真等によって、このプロジェクトの理念とイメージの紹介等を通じ本市の魅力伝えたい。さらに現在開催中のミラノ万博において、県のブースでPRを行いたい。

問 来年度から広くドネーション（寄付）を募るに当たって、その受け皿はどこか。

答 今後の活動の広がり考えた場合、一般財団法人や一般社団法人、NPOなどの団体の設立による受け皿を検討したい。



大野を取り囲む山々を上部の三角形で表現しており、同時に御清水の三角屋根もイメージ。山々に降る雪や雨が地面に浸透し、生活を潤してくれる水を下部のトップに入っている水のデザインで表現している。

新生おおの

すなこ

さぶらう
議員

一般質問

真名川河川敷自転車歩行者専用道路の 秋の供用開始に向けての安全対策は

自転車型マークの路面標示等で安全対応



立志会

堀田 昭一

議員

問 自転車を活用したまちづくり計画におけるサイクリングコースや真名川河川敷の自転車歩行者専用道路の安全対策は。

答 交通ルールの遵守やマナーの向上を図る啓発を行い、コースの一部に案内看板を設置し周知を図ることを検討している。

真名川河川敷には、自転車を型どったマークなどの路面標示を設置。真名川の増水時にはパトロールを実施し、必要に応じて通行止めの措置を行う。

問 自転車歩行者専用道路の橋付近にはどのような機能を持たせるのか。

答 富田大橋付近の真名川憩いの島はスポーツ機能の充実を、君が代橋付近は水遊びや交流の場を提供するコミュニティ機能の充実を図っている。八千代橋や真名川大橋付近は駐車場等の施設の配置を検討している。

問 今後、市民の声を反映して、計画の見直しや改善に取り組むのか。

答 まずは現計画にあるコースの整備を推進し、福井国体終了後に利用者の声を聞き、必要であれば本計画の改善を検討していく。

問 地方創生にかかわる事業の独自性や特徴は。

答 水とともに生きてきた文化と知恵、大野人の心を国内外に発信するキヤリング・ウォーター・プロジェクト、大野の魅力を再発見し伝える「大野へかえろう」事業等を実施し、大野の良さを再認識することで、定住やUターンの促進につながると考える。

問 総合計画後期基本計画策定のための市民意識調査の活用は。

答 地方創生・人口減少対策の視点からあらためて再分析を行い、後期基本計画と総合戦略に反映させたい。

一般質問

「大野市小中学校再編計画」は 行政改革の一環か

主目的が「行政改革」とは考えていない



日本共産党大野市議団

榮 正夫

議員

問 大野市は「公共施設の再編計画」を進める「行政改革」を推進し、「小中学校再編計画」では、平成32年に乾側小学校と有終西小学校、小山小学校と有終南小学校、阪谷小学校と富田小学校を統合し、和泉小学校・中学校は中部縦貫自動車道開通後X校に統合するとしている。また、平成30年に上庄中学校は開成中学校に、尚徳中学校は陽明中学校に統合し、平成41年には小学校と中学校共に2校に集約するという計画では、地域の崩壊は急速に進み、少子化に拍車がかかる事態を生み出し、人口減少はさらに深刻になるのではないか。

答 現在予想以上の少子化により児童・生徒数が減少し、小中学校の小規模化が進行している。望ましい教育環境を確保・充実することが喫緊の課題であることから、再編計画の素案を作成して、区長会やPTA、地域の皆さんに説明をしているところである。

問 「小中学校再編計画」や「文化会館の在り方検討委員会」の報告は行政改革の一環なのか。

答 主目的が行政改革とは思っていない。学校再編は子どもの幸せを願っているものであり、文化会館の在り方は文化振興の観点でどうあるべきかを考えてのものである。

問 再編計画素案が作成される過程で「秘密会」を取り決めて審議が行われたと聞かれています。

答 「学校教育審議会」の内容は非公開とした。素案策定の過程は非公開として、本音で話し合ってもらった。素案については、公表し開かれた中で意見を聞いていく。

近年経常収支比率が90%以上と高いが



投資的経費に使えるよう 経常収支比率を低くするよう取り組んでいく

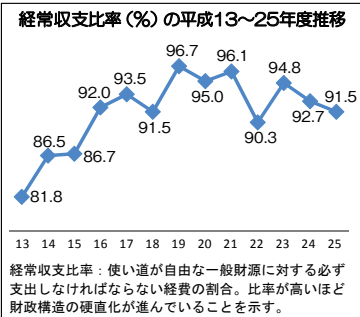
創生おおの

梅林 厚子

議員

問 昭和40年代の財政再建計画はどのようなものであったのか。

答 小・中学校、公民館、保育所、ごみ処理場、し尿処理場、市庁舎、市民会館、道路、橋梁の改修等必要な事業を行ったが、税金やその他の収入で賄えず多額の起債措置で対応。年々負債が増加し赤字を本市だけの力では再建できないと判断し、当時の法令に従い再建団体の選択をした。市民税法の税率、施設使用料の引き上げ、職員数の減少、物件費の節減等を行った。なお地方交付税、市税などの伸びにより計画より2年短縮し昭和47年度に赤字の返済が完了。



問 昭和40年代の財政再建計画はどのようなものであったのか。

答 サービスは少なくなる。よって、できる限り経常収支比率を低くするよう取り組んでいきたい。

問 職員数のビジョンは。

答 事務量に応じた適正な職員配置に努める。職員研修をはじめ、職員の意識改革と資質の向上に取り組みしていきたい。また、最小の経費で最大の効果を生み出すための職員数を意識し、新たな大野市定員適正化計画を策定していく。

問 市民から広報での財政状況の公表が分かりにくいと聞かれます。

答 できるだけ見やすい広報に努めていきたい。

バイオマス発電、各地で燃料供給不足が懸念されているが大丈夫か



森林施業の集約化、路網整備、増員体制、高性能機械を用いた低コストな作業により間伐材の搬出が可能

日本共産党大野市議員

野村 勝人

議員

問 本市の材積量からすれば十分足りているように見えるが、伐採可能な量は限られているので持続的に供給できないのではないかと懸念されている。また、伐採のあと必ず植林する計画になっているのか。

答 計画的に森林施業の集約と路網の整備をすることで、間伐量の確保は十分見込める。本市の森林は76%が保安林に指定されており、指定の森林を主伐する場合、伐採後、2年以内の植林が義務付けられている。保安林指定外の山林は、山林所有者や森林組合等と協議をしながら植林を推進していく。

問 水源の確保については「井戸を掘って用水調査を行った結果、周辺の井戸にも影響がないだろう」とのことだったが、その根拠は。また、大量に水を使うことになり、一般市民には地下水を大

問 家屋解体材に含まれる有害物質の公害対策は。

答 燃焼した後のガスは高温焼却のためほとんど出ないが、ダイオキシン等の除去率が高い集塵機でろ過して排出するとう処理をする。

問 事にしようと呼び掛けていることから、市民にすれば非常に疑問のゆく問題である。代わりの水源は考えていないのか。温排水を冷却して排水するためにも有効利用の計画は。

答 地盤から40以下の深井戸で、周辺の住宅の浅井戸とは地下水源が異なっているため、影響がないと考える。また、停電等のトラブルで地下水が使えないときの保障として、大野東部土地改良区に農業用水の一時的な利用をお願いしている。温水の利用については、施設園芸の検討を行っている。

一般質問

結の故郷女性分団の『今後の育成、組織維持、強化』は

全国的に注目を集める中、
団員として必要な知識と技術の習得を目指す



新生おおの

山崎 やまざき

利昭 としあき
議員

一般質問

問 女性分団の今後の育成、組織維持、強化をどのように考えるか。



結の故郷女性分団結団式

答 結成から2年目を迎える結の故郷女性分団は、現在、消火活動の基本となる消防操法訓練を実施し、7月に開催される第64回福井県消防操法大会に、これまでの歴史の中で初めて女性団員単独で出場する。100人の力を結集し、上位を目指して訓練に励んでいるところである。



消防操法大会に向けた訓練

3時間の普通救命教育の受講を計画し、将来的には市民に対する救急講習が実施できるよう育成し、救命率の向上につなげていきたいと考えている。そのほか、引き続き高齢者世帯の防火訪問、幼児への防火紙芝居の実施、防火パレードへの参加など、多岐にわたる火災予防啓発活動に取り組みすることで、消防団員としての自覚と結の心に基づく団結力を育み、組織力の強化と維持を目指していきたいと考えている。

大野市市街地の今後の方向性について

市街地活性化に向け引き続き支援していく



創生おおの

高田 たかだ

育昌 やすまさ
議員

問 結ステーションの位置づけは。

答 現在開催しているイベント等は規模等を見極めて(仮称)城下町南広場を活用していく。

問 タウンマネージャーの成果は。

答 まちづくり会社の設立、基本計画策定に対し支援を受けた。

問 五番通り、旧Fマーの再生については。

答 五番通り商店街再生の核となる利用を目的に生活者の利便向上と商店街の賑わい創出につなげるため引き続き取り組んでいる。

問 中心市街地における不動産の利用状況は。

答 商店街に点在する空き店舗などへの出店及び事業継承者に対する補助金の活用実績は、平成20年7月から26年度末までに18件である。

問 中心市街地での観光交流人口の増加を図る観

点から七間朝市との連携については。

答 歴史的、伝統的資源である朝市を後世に継承し発展させることで、観光客を増加させ、商店街の振興に取り組んでいる。

問 まちづくり会社の役割と今後の方向性は。

答 遊休不動産の再生に向けた取り組みやまちなかの魅力が高まる事業の実施など、まちづくり会社が行う市街地活性化に向けた事業に対し引き続き支援していきたい。

問 6次産業化の現状は。

答 国・県の支援を受けたサトイモや大豆などを使用した取り組みが3件。市の支援事業の実績が2件である。

問 農商工連携の考え方は。

答 6次産業化を進める上で大変重要なことであり、引き続き関係機関、団体と連携し支援していきたい。



特色ある道の駅づくりとは

重点「道の駅」は、本市ならではの特性を生かした 全国のモデルとなるよう努めたい

一般質問

立志会

廣田 ひろた

憲徳 かずのり
議員

問 助成制度ガイドブックに掲載した事業で18歳から30歳の市民が利用できる制度は。また、助成制度の周知及び活用促進を図るための取り組みは。

答 18歳から30歳の方が利用できるものは、結の故郷奨学金事業、結の故郷はたらく若者定住奨励金など40事業余りとなっている。

今後、助成制度の対象となる方や助成制度を利用したい方が目的とする情報に的確にたどり着くことができ、内容もより一層分かりやすいものとなるよう、取り組んでいきたい。

問 特色ある道の駅づくりとは。

答 本市の重点「道の駅」(仮称)結の故郷は、本年度、基本設計を予定しており、協議会の設立準備を進めている。

ワーキンググループと

して、防災グループ、道路管理グループ、地域振興グループの三つのグループを設け、さまざまな観点から意見を聴取し、施設や運営手法等を十分に検討した上で、基本設計に反映していきたい。

いずれにしても、本市ならではの特性を生かした全国のモデルとなるよう努めていきたい。

問 木質バイオマス発電所の排熱を利用した温室ハウスが検討されているが、どのような利用を考えているのか。

答 ハウスの規模を含め、栽培作物や実施主体などは未定の段階であるが、関係機関・団体や意欲ある農業者の参画も視野に入れ、本市に適した通年型農業の確立を目指すとともに、雇用の創出と地域の活性化につながるよう取り組んでいきたい。

のぞいてみよう大野市議会

市議会のしくみ (定例会とは)



市議会には、毎年必ず4回開かれる会議があり、これを「定例会」といいます。

定例会は、おおむね3月・6月・9月・12月に開かれます。

定例会中には、「本会議」と「委員会」が開催されます。

本会議は、議員全員で構成される会議で、議案の可否を最終的に決定します。半数以上の議員の出席がないと原則として開くことはできません。また、議会の意思は、通常、出席議員の過半数で決定します。

委員会は、少数の議員で構成する会議で、市の幅広い事務を能率的に詳しく審査するためのものです。審査結果は本会議で報告されます。

本会議

全議員が出席して、議案の可否を最終的に決定します。

- ①各委員会の分野ごとに議案を振り分けます。
- ②委員会での審査結果を本会議で報告します。

議会運営委員会

議会を円滑に運営する方法などについて協議をします。

常任委員会

それぞれ担当する分野ごとに議案を分け、審査します。6人で構成されており、現在、18人いる議員はいずれか一つの委員になっています。

- ・総務文教 (企画、財政、教育、消防など)
- ・産経建設 (農林業、観光、河川・道路など)
- ・民生環境 (福祉、環境、上下水道など)

特別委員会

特に重要なことを審議するためにつくられています。

- ・中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進
- ・人口減少・若者定住対策

平成27年6月第394回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	堀田昭一	野村勝人	廣田憲徳	高田育昌	山崎利昭	松田元栄	永田正幸	梅林厚子	川端義秀	宮澤秀樹	藤堂勝義	松原啓治	高岡和行	島口敏榮	兼井大	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
市長提出議案	47	平成27年度大野市一般会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	48	平成27年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	49	平成27年度大野市水道事業会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	50	大野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	51	大野市結の故郷奨学金貸与条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	52	大野市和泉体育施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	53	大野市特用林産物生産・加工施設整備工事（その1）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	54	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度大野市一般会計補正予算（第9号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	55	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	56	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算（第3号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
市会案	1	農業委員会委員の推薦について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	請願	4	「安全保障関連法案」の徹底審議の意見書提出を求める請願	不採択	否	賛	否	否	否	否	否	否	否	否	否	/	否	否	否	否	否	賛

（議長（高岡和行氏）は採決に加わらないので「/」で表示。欠席は「欠」、除斥は「除」と表示。）

議案に賛成○、反対×

請願・陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」

請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時までに受理されますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ① 請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ② 提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

(0779-64-4830)



▼「安全保障関連法案」の徹底審議の意見書提出を求める請願
 ○ 請願者 「戦争する国づくり」 反対福井県連絡会 代表 南條光磨
 ○ 紹介議員
 榮 正夫議員
 野村勝人議員
 佐々木勝男氏（上丁）
 長田小枝子氏（開発）
 黒田ちづ子氏（堂嶋）

▼農業委員会委員の推薦
 次の方を議会から農業委員会委員として推薦しました。

請願

人事案件

常任委員会審査



市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。

▼産経建設

六呂師高原の振興は

Q 重点「道の駅」の基
本設計策定協議の中に、
阪谷、六呂師方面へとつ
なぐ基幹道路の再整備に
についても組み入れられな
いか。

A 「道の駅」の協議会
の中で検討は難しいが、
今後、要望として県へ働
き掛けたい。

Q 知事のマニユフェス
トに掲げられた六呂師高
原の魅力を高めていくと
いうことに関し、進展は
あるのか。

A 県は施策検討のため、
現状調査を行っており、
県の観光新戦略において
新たな「100万人観光
地」を創出するという中
に、本市のまちなかと六
呂師高原が掲げられてい
ることから、今後、県と
連携しながら振興を図っ
ていきたいと考えている。



壮大な自然を体感できる六呂師高原

中津川市営住宅の廃止に 向けた取り組み状況は

Q 中津川の市営住宅廃
止の目標年度はあるのか。

A 公共施設再編計画の
中では明記していない。

Q 経過を見守るだけで
なく市として手立てを考
えていく必要があるのだ
ではないか。

A 中津川3団地内での
移動を働き掛け、集約化
する取り組みを進めてい
るものの、交渉がまとま
らなかつたり、移動先の

住宅のリフォーム代に多
額の費用が掛かったりと
課題が多い。

タウンマネージャーは 長期就任が必要では

Q 中心市街地活性化に
対して重要な役割を担う
タウンマネージャーにつ
いては、長期間着任して、
まちづくりに携わっても
らう必要があるのではな
いか。

A 現在、まちづくり会
社が公募しており、国の
補助金を活用しているた
め任期は1年となる。選
任者の意向もあるが、2、
3年のスパンで就任して
もらいたいとは考えてい
る。

▼民生環境

合併処理浄化槽設置者の 公共下水道への 加入の現状は

Q 市は、浄化槽の補助
を受ける際に、公共下水
道が供用開始になった場
合には「すみやかに」下
水道に加入するという内
容の覚え書きを提出して
いただく対応をしている。

また、昨年、加入を促す
通知を出したが、その効
果はあったか。

A 今年4月からこれま
で7軒の方に下水道へ加
入していただいた。今後
もさらに加入促進に努め
ていきたい。

介護保険サービスの 不正請求の防止について、 市の対策は

Q 全国で介護サービス
事業者の介護報酬の不正
請求が問題視されている
中、市はどのようなチェ
ック体制をとっているか。

A 介護サービス利用者
への介護給付費通知の送
付、市におけるケアプラ
ンの点検や介護相談員の
事業所への派遣、各事業
所が開催する運営協議会
への職員参加などを行う
といったチェック体制を
とっている。

▼総務文教

福井しあわせ元気国体の 本市開催競技の強化は

Q 本市で開催される競
技の強化策はどうなって
いるのか。

A カヌー競技はカヌー
を身近に感じてもらえる
ようカヌー教室を開催し
ている。

Q 何回開催するのか。
A 本年度は昨年と同数
の5回開催するのに加え
て、小学校へ出向き実施
する。

Q 成果はどうか。

A 現在本市には選手が
いないこともあり、国体
までに選手を育成するこ
とは困難な状況だ。



昨年、九頭竜湖で開催のカヌー体験

結の故郷女性分団の 訓練・研修体制は

Q 消火活動に女性が携
わるときに一番心配され
るのは、団員の負傷だが
訓練はどうなっているの

か。
A 女性消防団員にも、
消防団員として必要な知
識と技術の習得を目指し
た訓練を実施している。

Q 全国規模の研修には
何人程度派遣するのか。

A 本年度は「女性消防
団員活性化大会」に4人。

文化会館の在り方検討 委員会の検討状況は

Q 文化会館は経年劣化
が進み耐震診断結果E判
定（耐震性が相当劣る）
のため、文化会館在り方
検討委員会を設け検討し
てきたが、検討資料とし
て文化会館の使用状況等
の提示は行ったのか。

A 過去3年間の部屋ご
との利用者数など現在の
文化会館に関するデータ
や関係情報を提示した。

Q 報告では整備方法は
新築が望ましいとされて
いるが、建て替えを前提
に議論されたのか。

A 建て替えを前提とし
た議論ではなく、耐震補
強や廃止といったことな
ども含め、さまざまな角
度から模索、検討いただ
いた。

常任委員会 報告

▼産経建設

九頭竜新緑まつりで 若年層をターゲットに

本年度開催の九頭竜新緑まつりについては、若年層の来場者の増加と滞在時間の延長を目指して、二つのニュースポーツ企画を盛り込んだ成果が見取れたとのことであり、取り組みをさらに発展させ、幅広い年齢層の獲得につなげていただきたい。



新たな企画の一つ「ウォーターダッシュ」

道の駅で活性化が
図られる仕組みの確立を

重点「道の駅」（仮称）の故郷の基本設計を協議するため、協議会とその下部組織として、防災関連、道路管理、地域振興を担当する三つのワーキンググループを設置することのこと。本「道の駅」を核として市内を回遊するイメージを描いた「ま

るごと道の駅ビジョン」の実現に向けて、市内の回遊性向上が図られ、市内各地区の活性化につながる仕組みづくりを確立していただきたい。

観光面に配慮した まちなか循環バスの

停留所を

市民生活を支える交通手段というまちなか循環バスの本来の機能に加え、市内の観光地を周遊する来訪者の利便性を向上させる観点から、市内観光スポットを意識して停留所を配置できないか一度協議していただきたい。

▼民生環境

コンビニ交付サービスでの トラブル防止

このサービスは、平成28年4月からの開始予定で、「住民基本台帳カード」又は平成28年1月から交付の「個人番号カード」を利用し、全国の主要なコンビニにおいて住民票の写しや印鑑登録証明書、戸籍謄本などの交付を受けることができるもの。機械のトラブルが発生した際には、市に直ちに連絡が入り早急な対応ができる体制づくりを考えているとのことであるが、まずはトラブルを未然に防ぐことが重要であるため、その対策について検討されたい。

第1子からの子育て支援

これまで、第3子以降については3歳未満の保育料を無料としていたが、今年度から小学校就学前までに拡大し、少子化対策の拡充が図られている。

しかしながら、女性を取り巻く職場環境の問題や産後うつなど、初めての出産の不安を少しでも解消するため、第1子からの手厚い支援についても検討し、人口減少対策

につなげてもらいたいとの意見が述べられた。

受益者負担金の公平で 適切な徴収を

受益者負担金は、公共下水道を利用する方が公平に負担し、この事業を維持するための根幹をなすものである。現在、さまざまな事情の方がいることから、引き続き、きめ細やかな対応による公平で適切な徴収を推進されたいとの意見があった。

▼総務文教

和泉診療所事業特別会計 補正予算(第3号)

医薬材料費の増額補正を専決したのは、受診者数が昨年に比べ増え、医薬材料費がかさんだためとのことだが、高齢化が進む中、病気になる治療するということだけでは、医療費は膨らむ一方であり、病気を未然に防ぐという予防医学の観点に立った方策について検討願

福井しあわせ元気国体に 向けた取り組み

多感な子ども時代に興味と関心を持って、国体に集う日本のトップレベルの選手の活躍を直接見ること、将来国体選手に育つことも期待できる。そういった観点からも、国体に出場する選手の強化はもちろんのこと、本市で開催される相撲、自転車、カヌーの三競技に、将来を担う子どもたちが興味と関心を持つような施策を進められたい。



奥越明成高校の榎波選手「全国高等学校相撲選抜大会個人戦無差別級準優勝」報告

文化会館の在り方と 今後の方向性

昨年10月から検討を重ねていた文化会館在り方検討委員会から4月に、

整備方法は駅東公園も含めた現在地での新築が望ましい等の報告があった。

今後、報告書に基づき、施設整備について検討されると思うが、施設のハード面だけでなく、ホールの年間利用目標の企画立案等、ソフト面も十分検討されたい。



建築後約50年が経過した文化会館

請願4号「安全保障関連 法案」の徹底審議の意見 書提出を求める請願

十分に審議を尽くす必要があるとして、国会の会期が大幅延長されることから、引き続き国会における審議を見守っていくことが必要と判断し、全会一致で不採択とした。

特別委員会 報告

▼中部縦貫自動車道等

中部縦貫自動車道

大野油坂道路の大野東・和泉区間では用地取得、和泉・油坂区間では用地取得に向けた準備などが進められている。本年度事業化となった大野・大野東区間では、関係地区等で事業化に伴う説明会が開催され、本年度は、道路計画のための各調査を実施する予定とのこと。

重点「道の駅」

(仮称)結の故郷

基本設計策定に当たり、大野市道の駅(仮称)結の故郷計画協議会を組織し、その下部組織として、防災、道路管理、地域振興を担当するそれぞれのワーキンググループを設けるとの説明であった。地域振興ワーキンググループの議論が施設の根幹に

かかわると考えられるため、メンバーの人選について熟慮いただきたい。また、「まるごと道の駅ビジョン」の実現に向けて、危機感を持って柔軟な発想で取り組んでほしい。

国道158号

境寺・計石バイパス

整備の進捗を図るためには福井市に対し、協力を求めている。

▼人口減少・若者定住対策

総合戦略策定に資するため、これまでに4種類のアンケート調査を実施。また、第五次大野市総合計画後期計画策定のため実施した市民アンケート調査も人口減少対策の視点で再分析を行っているとのことである。

人口ビジョンについて

は、去る4月28日に第1回の人口減少対策会議を開催し、各委員から人口減少対策についての意見を聴取したとのことである。

総合戦略、人口ビジョンは、本年10月末をめどとし、策定作業に鋭意取

り組んでいくとの報告であった。

株式会社電通との協定に基づき取り組みこととしたキャリング・ウォータールプロジェクトや「大野へかえろう」プロジェクトについては、それぞれのプロジェクトを通じ、大野市民自身がふるさと

委員から人口ビジョン、

総合戦略の策定期を10月末としていることを鑑みると、現在の進捗状況は遅いように感じる。他のまねでなく、本市の実情に合った独自の内容とするためにも、もう少しスピードアップを図りたいとの意見が述べられた。

また、事業の推進に当たっては職員間の情報の共有に留意し、全職員の意思の疎通を図り、市民に対してもしっかりと情報発信ができるよう進められたいとの意見も出された。

議 会 日 誌

◆6月

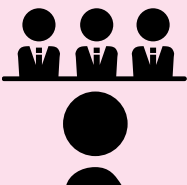
- 1日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
- 8日～24日 第394回定例会
- 17日 全国市議会議長会定期総会(東京都)
- 18日 市議会議員共済会代議員会(東京都)
- 30日 京都府久御山町議会行政視察来訪

◆7月

- 2日 秋田県美郷町議会行政視察来訪
- 9日 京都府与謝野町議会行政視察来訪
- 10日 議会だより編集委員会
- 13・14日 中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進特別委員会要望活動(大阪府・東京都)
- 16・17日 全国森林環境税創設促進連盟役員会・定期総会(新潟県村上市)
- 27日 議会運営委員会、議員全員協議会

◆8月

- 12日 福井県市議会議長会定期総会
- 21日 第1回大野市子ども議会



○市議会の傍聴にお越しく下さい

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局(3階)で受け付けを済ませてから、傍聴席(4階)にお入りください。

次回定例会の詳しい日程につきましては、広報おおのや大野市ホームページでご案内します。

○会議録の公開

本会議の会議録は、図書館や市役所窓口で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開します。また、各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。

○インターネット放映

平成27年3月定例会(第393回)から本会議の様をインターネットで録画配信しています。

大野市のホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。ただし、閲覧の前には、免責事項をよくお読みいただきますようお願いいたします。

特にスマートフォンによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますのでご注意ください。

委員会視察レポート



○民生環境

4月20日～22日に実施。
兵庫県たつの市では、

地域包括支援センターが実施している認知症対策について研修しました。認知症者本人や家族、かかりつけ医、ケアマネージャー、専門医などと情報を共有しながら適時・適切な治療や介護が行えるよう、たつの市独自の「赤とんぼ連携ノート」の利用を今年度から始め



たつの市での研修の様相

られています。

福岡県三潴郡大木町では、環境循環のまちづくりについて研修しました。

「大木町もつたいない宣言」に基づき、生ごみやし尿・浄化槽汚泥などを、住民との協働により、地域の中でエネルギーや有機肥料として循環活用する仕組みについて研修しました。

福岡県大牟田市では、使用済み紙おむつを水溶化処理後、再資源化している施設の見学を行いました。

熊本市では、下水汚泥固形燃料化について研修しました。市の「下水汚泥固形燃料化施設」において脱水汚泥の有効利用に積極的に取り組まれ、下水汚泥から燃料化物を製造し、火力発電所の石炭代替燃料として供給しており、下水汚泥の資源化の促進に貢献しています。

○産経建設

5月18日～20日に実施。
埼玉県深谷市では、NPO法人深谷にぎわい工

房の活動について研修を

しました。同法人は、まちなかにある歴史的建造物などの資源を活用し、個性ある魅力的なまちに再生するための取り組みを進めておられます。また、同法人が商店街の倉庫を再生して立ち上げた「深谷レンガホール」も視察しました。

群馬県川場村では、全国モデル「道の駅」に認定された川場田園プラザを視察しました。地域の農家が提供する新鮮で安心安全な野菜・農産物の直接販売を行っているほか、加工商品なども提供しています。



川場田園プラザファーマーズマーケット

長野県上田市では、信州上田観光ビジョンに基づく観光資源の磨き方や取り組みについて視察し

ました。

長野県飯山市では、飯山市の自然や文化、人情に触れることのできる地元密着型旅行プランについて研修しました。一般財団法人いよいよま観光局が取り組んでいるもので、「飯山旅旅」と称されており、个性的でバラエティに富んだ旅のプランが多数提供されています。

○総務文教

5月26日～28日に実施。
長野県佐久市では、移住・定住促進事業について研修をしました。また、移住体験住宅と道の駅「ほっとばーく・浅科」について現地視察を行いました。

長野県東御市では国指定史跡海野宿の滞在型交流施設整備事業について研修をしました。研修テーマである国指定史跡海野宿「うんのわ」のほか、道の駅「雷電くるみの里」も合わせて現地視察を行いました。

新潟県糸魚川市では、糸魚川市民会館のリニューアル事業について研修

をしました。研修のあと糸魚川市民会館の施設内容を確認するとともに、道の駅「能生」についても合わせて現地視察を実施しました。

それぞれの道の駅では、現地にて管理者より概略説明を受け、今後、本市で整備が計画されている重点「道の駅」（仮称）結の故郷のハード・ソフト面を検討する貴重な情報を得ることができました。



糸魚川市での研修の様相

編集後記

7月中旬には全国的に猛暑に襲われ、各地で熱中症に関する報道が相次ぎました。

大暑は過ぎたとはいえ、まだまだ暑い日々が続くと思われまので、市民の皆さまにはくれぐれもご自愛いただきたいと存じます。さて、3月から議会だより編集委員会は新たなメンバーとなり、今回号で2回目の編集となります。

編集委員会では、議会だよりが議会情報を市民の皆さまに広くお伝えする重要な手段の一つと認識し、より親しみのある、読みやすい紙面づくりを目指し委員会での議論を深めているところであります。

皆さまにはご愛読のほどお願いするとともに、率直なご意見やご感想をいただければ幸いです。

（座長 川端義秀）

議会だより編集委員会

- 委員
- 川端 義秀
 - 野村 勝人
 - 廣田 憲徳
 - 梅林 厚子

※ 次回は、10月下旬の発行を予定しています。

寄付行為の禁止

議員は、お祭のときなどにお金を寄付したり、お酒を届けることを禁止されています。有権者が求めてもいけません。（公職選挙法の規定）

